

コロナ禍の公共交通

板橋区 都市整備部 都市計画課

◆ 人の動きの変化

- ① コロナ以前から生じていたもの
- ② コロナ禍で生じたもの

◆ 様々な指標・数値への影響

- ① 交通事業者の事業実績
- ② ターミナル駅の利用状況推移
- ③ 人流データ
- ④ 地価（令和3年基準地価格）

◆人の動きの変化

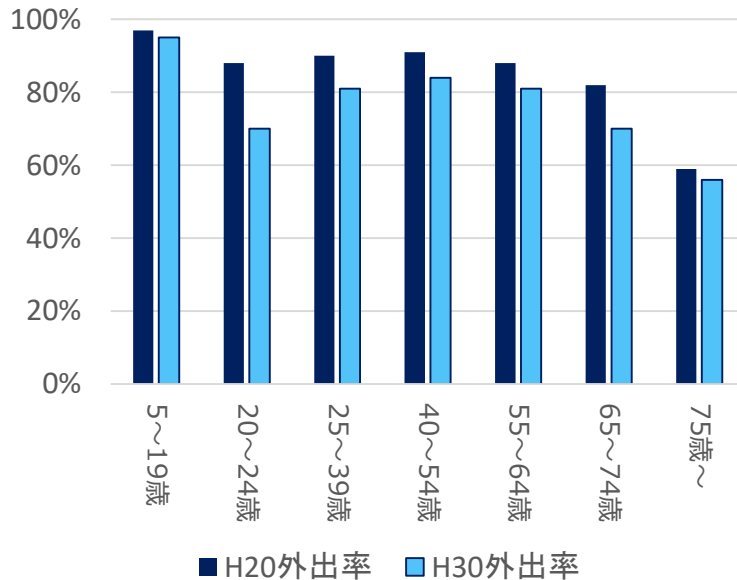
① コロナ以前から生じていたもの

【平成30年東京都市圏パーソントリップ調査】

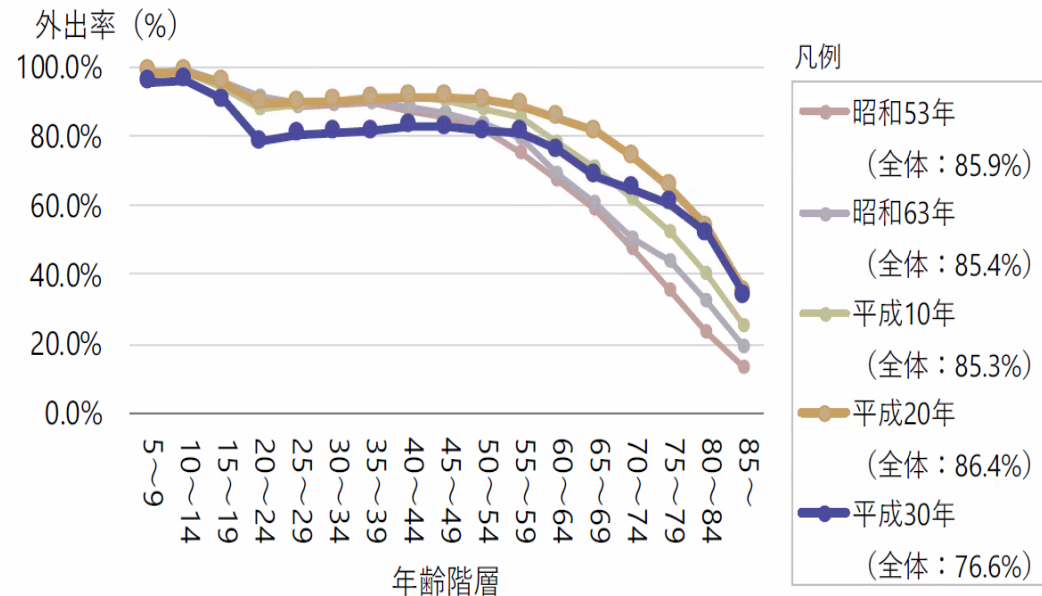
- ・平成20年から**外出率が大幅に低下**
- ・若年層から高齢者にかけて、**全体的に外出率の減少の傾向**を示している。

⇒ この背景には、インターネットの普及や利活用の多様化により、仕事や買い物に伴う外出の減少、SNSなどによるコミュニケーションによる外出の代替えなどがあるといわれている。

板橋区民の外出率



年齢階層別の外出率(東京都市圏全体)



◆人の動きの変化

② コロナ禍で生じたもの

新型コロナウイルスの感染拡大と

これに対応する「緊急事態措置」等の実施

⇒ “都心・副都心への移動”の大規模な減少

⇒ 住宅地での“滞在”の増加

あなたの命を、家族を、大切なひとを、社会を守るため

緊急事態措置実施中



STAY HOME
ウチで過ごそう



手洗いの徹底
マスクの着用



NO! 3密
密閉・密集・密接

人と人との接触機会を減らすために

- 徹底した外出の自粛
- テレワーク等の強化・徹底

東京都

東京都からの要請により
Requests from Tokyo City

お酒の提供を中止しています

マスクを着けていないお客さまの入店をご遠慮いただいています

We are not selling alcoholic beverages.
Customers without a mask are asked not to enter the store.




ご理解ご協力をよろしくおねがいします

東京都

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等

(1) 区域
都内全域

(2) 期間
令和3年7月12日（月曜日）0時から9月30日（木曜日）24時まで

(3) 措置等の概要
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、人流の抑制を最優先に、以下の要請を実施

- ① 都民向け
 - ・日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛要請 等
- ② 事業者向け
 - ・施設の使用停止の要請（休業の要請）
 - ・施設の使用制限の要請（営業時間短縮の要請）
 - ・催物（イベント等）の開催制限 等

2. 都民向けの要請

- 日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛を要請
(新型インフルエンザ等対策特別措置法第45条第1項)
医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要な場合を除き、原則として外出しないこと等を要請
- 特に、以下のことについて徹底することを要請（法第45条第1項）
 - ・デルタ株に置き換わりが進み、急速に感染が拡大していることを踏まえ、混雑した場所等への外出を半減すること
 - ・20時以降の不要不急の外出を自粛すること
 - ・外出する必要がある場合にも、極力家族や普段行動をともにしている仲間と少人数で、混雑している場所や時間を避けて行動すること
 - ・感染対策が徹底されていない飲食店等や休業要請又は営業時間短縮の要請に応じていない飲食店等の利用を厳に控えること
 - ・不要不急の帰省や旅行など都道府県間の移動や、感染が拡大している地域への不要不急の移動を極力控えること
 - ・路上、公園等における集団での飲酒など、感染リスクが高い行動を自粛すること

◆様々な指標・数値への影響

① 交通事業者の事業実績(1)

JR東日本

「2022年3月期第2四半期決算説明会」資料
(2021年10月29日付) においては、

- ・ 定期外収入 (在来線 関東圏・新幹線) の減少
- ・ **定期収入・定期外収入、いずれも年度末時点でコロナ前の80~85%の想定**

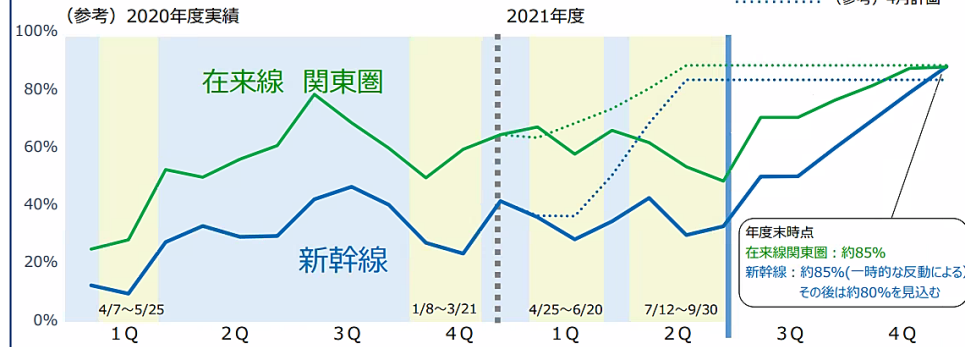
としている。

運輸事業

(単位:億円)	2020.9実績	2021.9実績	2021.9/2020.9		2021.3実績	2022.3 4月計画	2022.3 10月計画	対2021.3実績		対4月計画 増減
			増減	%				増減	%	
営業収益	4,952	5,869 [5,901]	+916	118.5	10,957	16,040 [15,990]	13,360 [13,390]	+2,402	121.9	△2,680
営業利益	△2,941	△1,439 [△1,430]	+1,501	-	△5,485	△400	△2,570	+2,915	-	△2,170

■ 鉄道運輸収入の見通し前提

■ 定期外収入：コロナ前との比較 (特殊要素を除く) ※2021年9月までは実績比較



資料：東日本旅客鉄道(株)ホームページより

東京都交通局

「令和2年度運輸成績総表」において、

- ・ 自動車運送事業 (路線バス) の輸送人員・収入の減少 (前年度比▲20%超)
- ・ 高速電車事業 (地下鉄) も同様の減少 (前年度比▲30%超)

となっている。

項目	営業キロ	期末在籍車両数	輸送人員				乗車料収入 (税抜)			
			年間		一日平均		年間		一日平均	
			前年度比	%	前年度比	%	前年度比	%	前年度比	%
自動車運送事業	km	1,535	183,017	△ 21.0	501,418	△ 20.7	28,374	△ 21.8	77,738	△ 21.6
乗合	744.6	1,527	182,882	△ 20.9	501,048	△ 20.7	28,270	△ 21.4	77,452	△ 21.2
貸切	-	8	135	△ 62.2	370	△ 62.1	104	△ 63.3	286	△ 63.2
軌道事業	12.2	33	14,232	△ 16.7	38,993	△ 16.5	1,722	△ 17.6	4,716	△ 17.4
新交通事業	9.7	100	26,469	△ 20.3	72,518	△ 20.1	4,646	△ 19.9	12,728	△ 19.6
懸垂電車事業	0.3	0	0	-	0	-	0	-	0	-
高速電車事業	109.0	1,190	700,207	△ 32.4	1,918,376	△ 32.2	95,381	△ 33.5	261,318	△ 33.3
浅草線	18.3	224	184,180	△ 34.5	504,604	△ 34.3	20,662	△ 36.4	56,606	△ 36.3
三田線	26.5	222	167,581	△ 32.5	459,124	△ 32.3	20,874	△ 31.2	57,189	△ 31.0
新宿線	23.5	264	202,737	△ 30.2	555,442	△ 30.1	25,946	△ 30.6	71,087	△ 30.5
大江戸線	40.7	480	238,666	△ 33.3	653,881	△ 33.2	27,899	△ 35.4	76,436	△ 35.2
合計	-	2,858	923,925	△ 29.9	2,531,305	△ 29.8	130,123	△ 30.7	356,500	△ 30.5

資料：東京都交通局ホームページより

◆様々な指標・数値への影響

① 交通事業者の事業実績(2)

東京メトロ

「2022年3月期第2四半期決算説明資料」
(2021年11月5日付) においても、

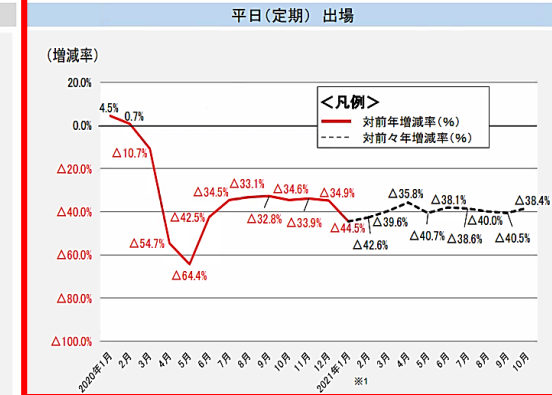
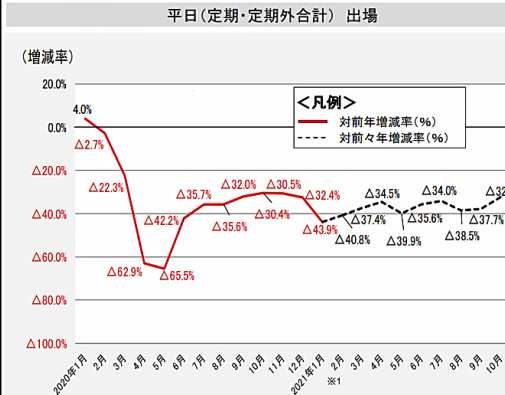
- ・ 定期券利用者の減少が継続中
(コロナ前比▲35%超)
- ・ 定期外利用者も減少が続いているが、
コロナ感染者数の増減に合わせて、
減少幅は上下している
(10月土休日は回復が強い)

という状況が確認できる。

生活様式や働き方の変化は、首都東京において、人の移動を担う鉄道・バスに対して、相当大きな影響を与えている。

全線における自動改札機データ(定期・定期外合計及び定期 月別)

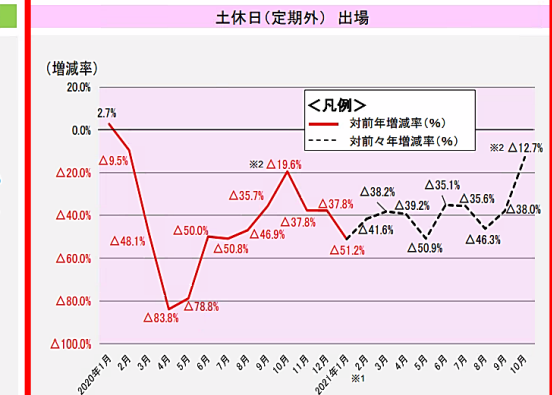
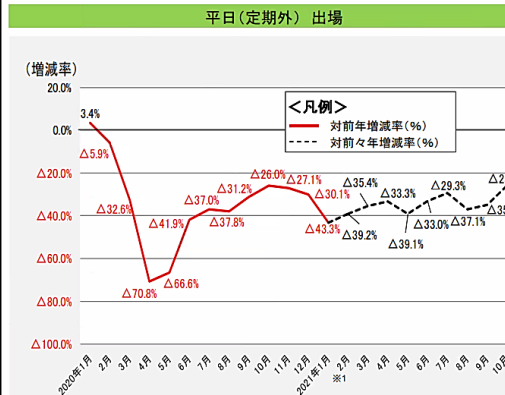
■ 自動改札機における全駅の平日の定期・定期外合計出場枚数及び定期出場枚数は、今期においては感染者数が増加傾向にあった2021年5月と8月に減少幅が拡大しましたが、9月30日に緊急事態宣言が解除され、10月は減少幅が縮小しております。



※1 2020年2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していることから、2021年1月までは対前年増減率、2021年2月以降は対前々年増減率を記載。

全線における自動改札機データ(定期外 月別)

■ 定期外出場枚数では、平日・土休日ともに、今期においては感染者数が増加傾向にあった2021年5月と8月に減少幅が拡大しましたが、感染者数の減少に伴い、9月以降は、平日・土休日ともに減少幅が縮小傾向となり、総じて定期よりも減少幅の縮小傾向が強くなっております。



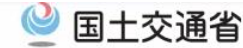
※1 2020年2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していることから、2021年1月までは対前年増減率、2021年2月以降は対前々年増減率を記載。

※2 2019年10月12日(土)、13日(日) 台風19号による運休の影響を含む。(2020年10月 約10ポイント、2021年10月 約11ポイント減少幅圧縮)

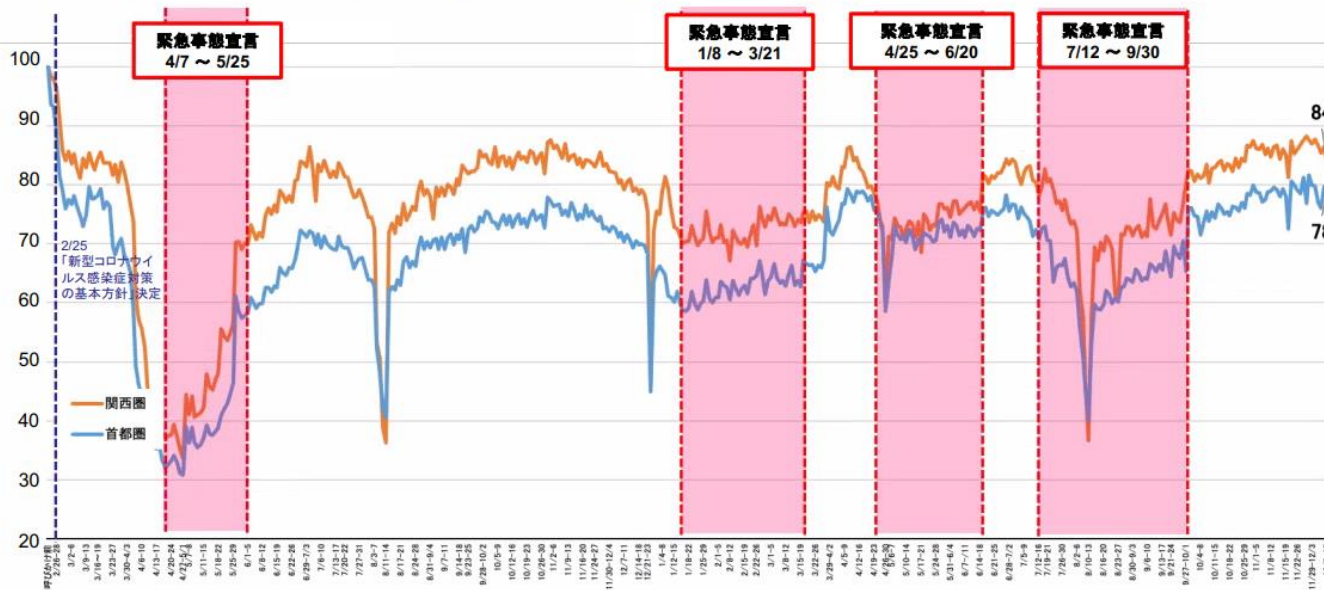
◆様々な指標・数値への影響

②ターミナル駅の利用状況推移(平日ピーク時間帯)

駅の利用状況(首都圏・関西圏:速報値)



テレワーク・時差出勤呼びかけ後のピーク時間帯の駅利用状況推移



平日ピーク時間帯の首都圏
及び関西圏のターミナル駅
での自動改札出場者
(コロナ前と比較した割合)

(2021年12月中旬)

⇒ **首都圏は 78%**

⇒ **関西圏は 84%**

(2020年)

※JR(JR東日本、JR西日本)、大手民鉄(東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神)の主なターミナル駅における
平日ピーク時間帯の自動改札出場者数の減少率の平均値

※数値は、呼びかけ前を100とした場合の指数

※「呼びかけ前」は、2月17日の週の特定日

※ピーク時間帯は、各駅において7:30~9:30の間の1時間で最も利用者が多い時間帯

※主なターミナル駅は、以下のとおり

首都圏: 東京、新宿、渋谷、品川、池袋、高田馬場、大手町、北千住、押上、日暮里、町田、横浜

関西圏: 大阪・梅田、京都、神戸三宮、難波、京橋

※グラフ内で「緊急事態宣言」とした期間については、首都圏及び関西圏のいずれかの地域において緊急事態宣言が発令されていた期間を示す

資料:「新型コロナウイルス感染症対策」(内閣官房) (<https://corona.go.jp/dashboard/>) より

◆様々な指標・数値への影響

③ 人流データ

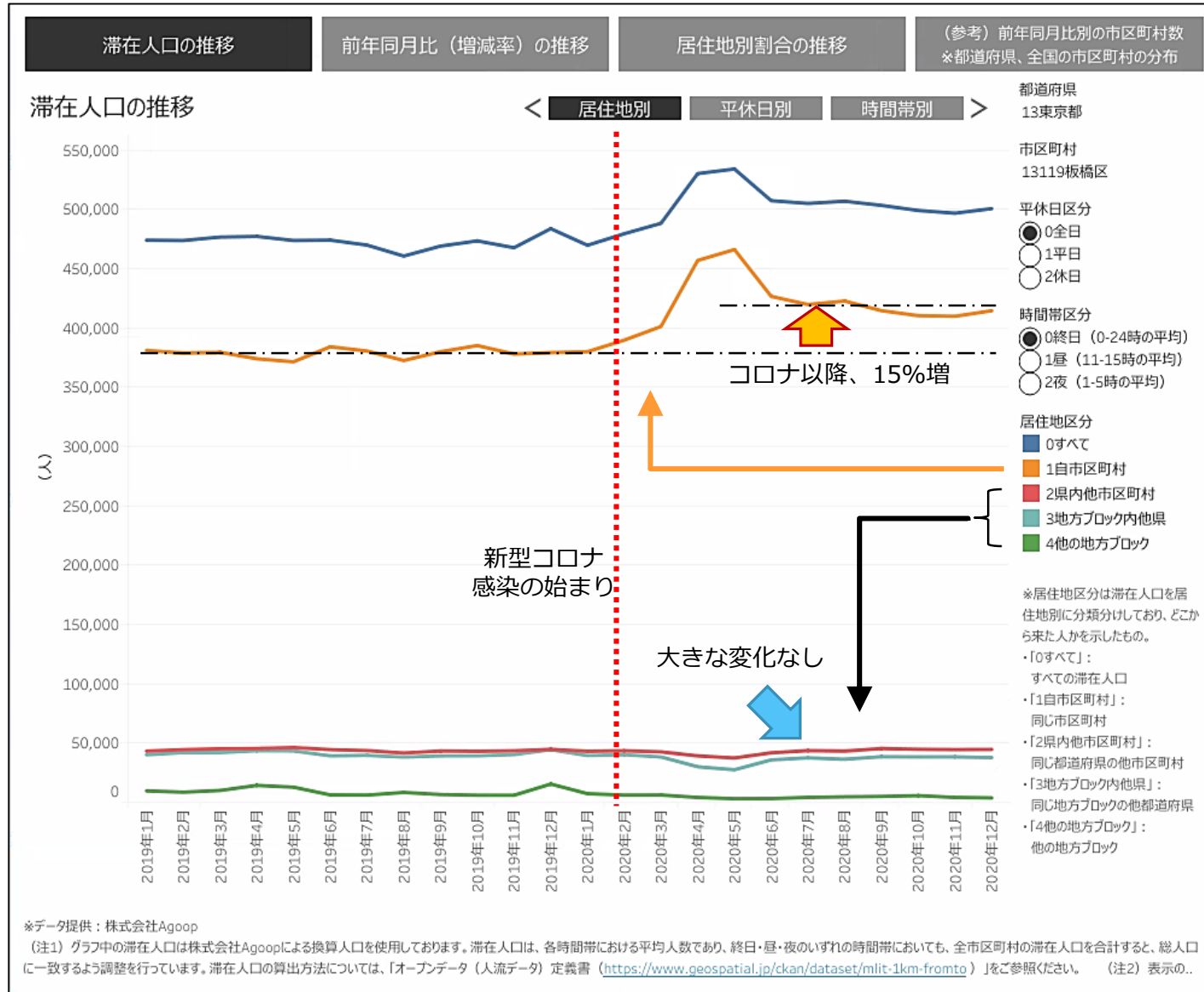
板橋区内の滞在人口の推移
(2019年1月～2020年12月)

⇒ **板橋区民の滞在人口**
15%増加
(人数：4万人超)

板橋区は住宅地としての
性格が強い

⇒ **外来者の滞在人口**
大きな変化なし

板橋区は区外から働きに
来ている人は多くない
(企業立地は少ない)



◆様々な指標・数値への影響

④ 地価(基準地価格)

令和3年地価調査 基準地価格区市町村別用途別対前年変動率

区分 地区	住宅地	商業地	工業地	全用途	区分 地区	住宅地	宅地 見込地	商業地	工業地	全用途	区分 地区	住宅地	宅地 見込地	商業地	工業地	全用途
千代田区	1.1	▲ 1.2		▲ 1.0	立川市	0.7		0.6		0.7	青梅市	▲ 0.6		▲ 0.6	4.2	▲ 0.2
中央区	1.1	▲ 1.9		▲ 1.5	武蔵野市	1.5		0.6		1.1	福生市	0.0		▲ 0.8		▲ 0.3
港区	1.8	▲ 0.7	2.0	0.1	三鷹市	0.1		1.6		0.4	羽村市	▲ 0.5		▲ 0.6	2.9	▲ 0.1
新宿区	1.0	▲ 1.8		▲ 1.0	府中市	1.0		0.5		0.8	あきる野市	▲ 0.5		▲ 0.5		▲ 0.5
渋谷区	0.3	▲ 0.6		▲ 0.3	昭島市	▲ 0.5		▲ 0.9	0.0	▲ 0.5	瑞穂町	▲ 0.1		▲ 0.8	0.0	▲ 0.2
都心5区	1.1	▲ 1.3	2.0	▲ 0.7	調布市	1.1		0.0		0.8	日の出町	▲ 0.5				▲ 0.5
文京区	0.3	0.3		0.3	小金井市	0.1		0.0		0.0	檜原村	▲ 0.5				▲ 0.5
台東区	1.8	0.0		0.2	小平市	▲ 0.1		▲ 0.2		▲ 0.1	奥多摩町	▲ 0.8		▲ 0.8		▲ 0.8
墨田区	0.4	0.5		0.5	東村山市	▲ 0.1		▲ 0.3		▲ 0.2	西多摩	▲ 0.5		▲ 0.7	2.8	▲ 0.3
江東区	0.8	0.5	2.1	0.8	国分寺市	0.3		0.8		0.4	多摩全域	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0
品川区	1.9	▲ 0.1		0.8	国立市	0.7		0.0		0.6						
目黒区	0.8	▲ 0.1		0.4	狛江市	1.6		0.0		1.4						
大田区	0.3	0.4	2.4	0.4	東大和市	▲ 1.3		▲ 0.6		▲ 1.2						
世田谷区	0.1	0.4		0.2	清瀬市	▲ 0.4		▲ 0.5		▲ 0.4						
中野区	0.8	0.6		0.7	東久留米市	▲ 0.3		▲ 0.4		▲ 0.3						
杉並区	0.8	0.6		0.8	武蔵村山市	0.0		▲ 0.8		▲ 0.1						
豊島区	1.2	0.0		0.5	西東京市	0.1		0.7		0.2	大島町	0.0		▲ 1.6		▲ 0.8
北区	0.3	0.4	1.2	0.4	北多摩	0.2		0.2	0.0	0.2	新島村	▲ 0.7		▲ 3.1		▲ 1.5
荒川区	0.6	0.4		0.5	八王子市	▲ 0.2	0.0	▲ 0.3	1.3	▲ 0.2	神津島村	0.0		0.0		0.0
板橋区	0.2	0.1		0.2	町田市	▲ 0.4	0.0	▲ 0.3		▲ 0.3	三宅村	0.0		▲ 0.8		▲ 0.3
練馬区	0.4	0.0		0.3	日野市	▲ 1.1		0.4		▲ 0.9	八丈町	0.0		▲ 1.4		▲ 0.5
足立区	0.7	0.1	1.2	0.5	多摩市	▲ 0.5		▲ 0.2		▲ 0.4	小笠原村	0.0	0.0	0.0		0.0
葛飾区	0.1	▲ 0.2	0.0	0.0	稲城市	1.6		0.3		1.3	島部	▲ 0.1	0.0	▲ 1.2		▲ 0.4
江戸川区	0.1	▲ 0.2		0.0	南多摩	▲ 0.2	0.0	▲ 0.2	1.3	▲ 0.2						
その他区	0.5	0.2	1.6	0.4												
区部全域	0.5	▲ 0.3	1.7	0.1							東京都全域	0.2	0.0	▲ 0.3	1.9	0.1

(注) ・単位%、▲印はマイナスを示す。
・林地は集計から除外した。

令和3年9月公表の
基準地価格では、

⇒ 商業地は、主に
都心5区が下落

⇒ 住宅地は、
23区全域で上昇

在宅ワーク、外出自粛の
影響が、はっきりと表れた
と言われている

◆委員の皆様から

2020年2月頃からの新型コロナウイルス流行を受けて、委員の皆様の業務やご自身の身の回りの状況などを、差し支えない範囲でお聞かせいただければと思います。

(1) 緊急事態措置などによる皆様の業務・仕事への影響・変化

マイナス面の内容が多いとは思いますが、プラス面もお気づきの点がありましたらお聞かせください。

(2) ご自身の生活での変化

働き方だけでなく日常生活での変化や、新たに始められたことなどがありましたらお教えてください。

(3) 今年10月以降の緊急事態措置解除後の変化

諸外国では感染拡大が続く中で、日本では急速に新規感染者数が減少し、現在もその傾向を維持しています。

業務・仕事での顧客の変化や、ご自身の意識や考えの変化など、体感されたものについてお聞かせください。

まだ、今後について不透明な部分が多い状況ですが、公共交通についても皆様の“気づき”の中に、次の展開が見えるのではないかと思い、情報共有ができたらと考えております。